9月20日：ベトナム株はETF見直しで下落

VN 指数は 990 ポイントまで逆戻り、ETF の組み入れ見直しの最終日だったため、いくつかの株式が大きな打撃を受けた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.68% 下落し 990.36 ポイントで取引を終えた。

同指数は木曜日には 0.20% 上昇していた。

金曜日の下落で今週の上昇を帳消しにすることになった。

5 営業日で先週末比 0.32% の上昇にとどまった。大きく上昇した場面では 1% ほど上昇していた

投資家は金曜日に明らかに警戒しており、VN 指数は前場にわずかに上昇したが、1000 ポイントに近づくと下落を始めた。MB 証券はデイリーレポートで報じた。

ETF のポートフォリオの見直しと外国人投資家の売りが市場の下落の主な要因となった。

外国人投資家の売り越しはホーチミン取引所で 3660 億ドン (1573 万ドル) で、ビンググループ (VIC)、バオベトホールディングス (BVH)、ベトコムバンク (VCB) などに売りが集中した。

その他大型株で下落した銘柄がはノブランド不動産 (NVL)、サコムバンク (STB)、SSI 証券 (SSI)、ビナミルク (VNM) などであった。

それらの大型株の下落のために VN30 指数は 0.4% の下落をした。中小型指数はそれぞれ 0.07%、0.55% の下落だった。

下げを牽引したのは不動産、農業、飲食料、建設、保険、銀行、証券などであった。

それらのセクター指数は 0.7-1.8% 下落した。

出来高は 2 億 360 万株で売買代金にして 5.64 兆ドンであった。171 銘柄が下落し 139 銘柄が上昇した。

投資家の警戒感からわかるように、VN 指数は 1000 ポイントを超える準備が出来ていないことが明らかであった。

しかし、テクニカル的には、短期的な上昇トレンドは崩れておらず、指数は 990-1000 ポイントのレンジを上下してもおかしくはないと MB 証券は報じた。

楽観的なシナリオだが、大型株への材料が欠けて、上昇の期待の大きい一部の株だけに資金が集中するようになるということも考えられると同社は語る。

ハノイ取引所では HNX 指数は 0.1% 上昇し 104.14 ポイントで取引を終えた。

HNX 指数は 9 月 11 日以来 8 営業日連続の上昇で 4.17% の上昇になっている。

HNX 指数は週間でも 1.9% ほど上昇した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。